

平成30年度「黒岩知事との“対話の広場”地域版（県西会場）」参加者意見一覧

“対話の広場”地域版（県西会場）では、当日のご発言以外にも、参加者アンケートにてご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見・ご感想を以下のとおりまとめました。（ご意見・ご感想は要約してあります）

「子どもみらいをスマイル100歳に！」に関すること

・子どもたちは未来をつくり上げる人。高齢者は今をつくり上げた方。ともに過ごせる県ができたらい。全ての県民が笑顔になれるようにしたい。子どもたちに、病気をせず生きるとこんなに素敵に年を取れると教えてあげたい。（箱根町・女性）

地域テーマ（食と運動で未病改善！地域で育てる子どもみらい）に関すること

・食について、家での食事作りは何よりも大切だと思う。小学校での給食は学校で作られていてとてもおいしく、学校に行く楽しみの一つだったが、中学生になり、給食センター方式に変更されおいしくなくなったので、学校給食に力を入れてほしい。（小田原市・女性）

・ゲームなどもバランスよくやり、運動も組み合わせてやれば体に良いと思う。（小田原市・男性）

・未病について、食や運動で多くの改善策を知ることができたので生活に取り入れていきたい。いろいろな年齢層の生の意見交換ができてとても楽しかった。（小田原市・男性）

・運動の取組を今回初めて知った。広報を更にして賛同する人が増えれば、より良いものが作れると思う。（小田原市・男性）

・小学生の弟が、外で遊ぶことがほとんどなく、スポーツクラブや子ども会に入っていないので、運動不足なのではと考えていた時に、未病について知ることができた。今、運動不足であることが、将来にも大きな影響を及ぼしてしまうと思い、危機感を感じた。習い事としなくても短い期間で運動に親しむことができたり、好きな時に運動することができる「機会」があれば良いと思う。（小田原市・女性）

・未病について学習する場がもっと増えると良いと思う。また、コミュニティーの希薄が見受けられるため、子どもたちがつながりを持つ時間が減少していると思われる。食についても食べる物の種類が豊富になり、いつでも手に入れる事ができるため、食への意識が薄くなっていると考えさせられた。とても良い機会をいただき良かった。（山北町）

・病気であるか健康であるかのどちらかではなく、グラデーションであることを初めて知った。未病についても知らなかったなので、今回話を聞くことができて良かった。（湯河原町・男性）

・子どもたちの未病を改善するためには、まずは大人たちが未病を改善しなければならないと思った。子どもは大人の背中を見て育つので、大人が見本になれるように努力をすることが第一歩だと考える。（湯河原町）

・小田原短期大学の宮川先生の「親の日常生活」が「子どもの日常生活」を健全化させる話に興味を持った。まずは大人が健全な生活をする、特に女性の健康教育がこれから大切ではないか。また、松田ゆいスポーツクラブの話聞き、子どもの運動は本来遊びから、子どもの身体を動かすことへの興味から発生すると思った。食と同様、親の教育・理解・環境整備が大切。運動を含め、子どもを取り巻く環境の充実を図ることを希望する。（小田原市・男性）

・今回のテーマで、小・中学生の意見が聞きたかった。再度、このような場を設定していただきたい。（南足柄市・男性）

その他

・パワーポイントが見づらかったので、事前にその資料などがあると分かりやすかったと思う。(小田原市・男性)

・地域の活動をひっばっている方、地元の高校生などいろいろな世代の地域の方の生の話を聞いて面白かった。(秦野市・女性)

・意見が言えない子どもがいることがわかった。(寒川町・女性)

・普段、あまり県で行われている活動に触れることが少なかったため、これを機に参加していただけたらいいと思った。(秦野市・男性)

・外や公園でボール遊びができなかったり、公園がなくなって外で遊べなくなったりしたので、子どもが遊ぶための遊び場を作ってほしい。(茅ヶ崎市)

・意見交換がとても面白いと思った。理由は幅広い年代、様々な立場の人の話を聞くことができ、普段関わりがないような方々の考え方を知ることができたから。このような講演会には、是非意見交換の場を取り入れてほしい。(小田原市・女性)

・知事は「他人事」にせず、「自分事」にすることがとても大切だとおっしゃられていたが、今の学生にはそういう意識が薄いように感じる。どのように意識づけすれば良いか。(小田原市・男性)

・子どものいじめが本格化してきたのはここ数年であり、いじめの原因の一つはコミュニケーション能力の欠如だと考える。高校生の発言にもあったように高学年なら受け止められるが低学年ではトラウマになる危険がある。誰かと繋がる場、例えば公園なども減少している中、親たちが足を運びやすく、交流もできるような場所があればと思う。(小田原市・男性)

・もう少し県の取組について話ができれば良かった。(南足柄市・男性)

・事例発表の2件は、いらなかったように思う。(南足柄市・男性)

・子育ての話があまり出なかった。(小田原市・男性)

・運動等グループに入っていないと個人で自由に参加できるものがないと思う。年齢制限で小中高生などの集まる場がないという話もあった。(小田原市・女性)

・小田原市の児童館は年齢制限があって利用しにくい。居場所がない。コミュニティ食堂を農家から提供。子どもが忙しく、子どもらしい時間を過ごすことが少ない子ども。人とつながるプロセスでいじめに遭うとトラウマが生じコミュニケーションができなくなる、という意見があった。(茅ヶ崎市・男性)

・神奈川県全体で児童館、それに準ずるものを是非作ってほしい。小田原の公民館は自治会がやっているため、自治会の色が濃く出ます。せめて誰もが使いやすいものをお願いします。(小田原市)

・以前小田原合庁には食堂があったが今はない。食と運動で未病改善に向け、食堂の復活を希望する。地産地消の観点から食堂で地元の農産物を使用した食事を提供する。安心安全な食を提供は未病の改善につながる。食堂の運営にもいろいろ課題があるだろうが、未病改善のために努力してみてもどうか。(小田原市・男性)

・意見交換の先、発言者の世代が多少偏っていたので、逆に高齢者の意見も聞いてみたかった。(小田原市・男性)

・運動に関して、老朽化して危険なため遊具が撤去されるなど、遊ぶ場所がなくなっていることが原因だと考える。子どもが遊ぶ音や声が気になる人もいるので、畑や田んぼがなくなった空き地に、建売の家を建てるのではなく、公園や遊ぶ場所を増やしてほしい(開成町・男性)